

科目名	解剖生理学 I	時期	1年次 前期
担当者	非常勤講師	単位(時間) 回数	1単位(30時間) 15回
科目の概要	人体の構造と機能を学ぶ		
目 標	人体の発生と構成する単位(細胞・組織・器官系)と人体の構造を理解する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	<input type="checkbox"/> 1. 豊かな人間力 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 看護を実践する力 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 探求する力 <input type="checkbox"/> 4. 連携・協働する力		
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学 医学書院		
参考文献			
評 価	筆記試験、平常点、出席などから総合的に判断する		
授 業 計 画			
回数	項 目	内 容	方 法
1～15	呼吸と血液のはたらき	呼吸器系の構造と機能	講義
	血液の循環とその調節	循環器系の構造と機能	
別時間	試験		

科目名	解剖生理学Ⅱ	時期	1年次 前期
担当者	非常勤講師	単位(時間) 回数	1単位(30時間) 15回
科目の概要	人体の構造と機能を学ぶ		
目標	人体の発生と構成する単位(細胞・組織・器官系)と人体の構造を理解する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	<input type="checkbox"/> 1. 豊かな人間力 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 看護を実践する力 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 探求する力 <input type="checkbox"/> 4. 連携・協働する力		
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学 医学書院		
参考文献			
評価	筆記試験、平常点、出席などから総合的に判断する		
授 業 計 画			
回数	項目	内容	方法
1～15	栄養の消化と吸収 体液の調節と尿の生成 生殖・発生と老化のしくみ 試験	消化器系の構造と機能 泌尿器系の構造と機能 生殖器系の構造と機能	講義
別時間			

科目名	解剖生理学Ⅲ	時期	1年次 後期
担当者	非常勤講師	単位(時間) 回数	1単位(30時間) 15回
科目の概要	人体の構造と機能を学ぶ		
目標	人体の発生と構成する単位(細胞・組織・器官系)と人体の構造を理解する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	<input type="checkbox"/> 1. 豊かな人間力 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 看護を実践する力 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 探求する力 <input type="checkbox"/> 4. 連携・協働する力		
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学 医学書院		
参考文献			
評価	筆記試験、平常点、出席などから総合的に判断する		
授 業 計 画			
回数	項目	内容	方法
1～15	からだの支持と運動	1. からだの骨格と筋 2. 骨組織と筋組織	講義
	内蔵機能の調節	1. 内分泌系の構造と機能 2. ホルモン	
別時間	試験		

科目名	解剖生理学IV	時期	1年次 後期
担当者	非常勤講師	単位(時間) 回数	1単位(30時間) 15回
科目の概要	人体の構造と機能を学ぶ		
目標	人体の発生と構成する単位(細胞・組織・器官系)と人体の構造を理解する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	<input type="checkbox"/> 1. 豊かな人間力 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 看護を実践する力 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 探求する力 <input type="checkbox"/> 4. 連携・協働する力		
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学 医学書院		
参考文献			
評価	筆記試験、平常点、出席などから総合的に判断する		
授 業 計 画			
回数	項目	内容	方法
1～14	情報の受容と処理 感覚器 外部環境からの防御	1. 脳と脊髄、末梢神経系 2. 自律神経系 3. 神経組織 4. 特殊感覚器の構造と機能 1. 生体防御機構	講義
15 別時間	解剖見学 試験	1. 解剖体、諸臓器の観察	見学実習

科目名	生化学	時期	1年次 前期
担当者	非常勤講師	単位(時間) 回数	1単位(30時間) 15回
科目の概要	人体を構成する化学物質の種類と構造、機能、代謝等に関する基礎知識を学ぶ。		
目標	1 人体の構成成分である科学物質の性状・分布・代謝について理解する 2 細胞、エネルギー産生、物質の合成と分解(解毒)、情報伝達と調節等の生命現象(恒常性)を理解する 3 恒常性が破綻した状態(つまり疾患)の代表例を理解する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	<input type="checkbox"/> 1. 豊かな人間力 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 看護を実践する力 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 探求する力 <input type="checkbox"/> 4. 連携・協働する力		
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[2]生化学 医学書院		
参考文献	適時印刷資料を配付し、教材とする。		
評価	授業での小テストと筆記試験		
授業計画			
回数	項目	内容	方法
1~2	生化学の基礎知識 細胞の構造と機能	有機化合物、極性、官能基、結合様式、酸と塩基 細胞膜、細胞小器官、核の仕組みと働き	講義
3~4	糖質(1)	遺伝情報(複製、転写、翻訳)	講義
5~6	糖質(2)	単糖、二糖、多糖の種類と構造 分子構造模型セットを使って、単糖、二糖、多糖を組み立てる。構造、特性、疾患との関連を理解する。	演習 講義と演習
7~8	脂質 タンパク質 酵素	中性脂肪、その成分であるグリセロールと脂肪酸(飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸)、リン脂質、脂質輸送 アミノ酸の種類と働き、タンパク質の種類と機能 酵素反応、アイソザイム、酵素と補酵素、逸脱酵素	講義と演習 講義と演習
9~10	核酸 水と無機質: 関連疾患	プリン・ピリミジン塩基、ヌクレオチド、DNA と RNA アシドーシスとアルカローシス、イオン、Ca、Fe: 骨粗鬆症	講義
	血液 尿 ビタミン	赤血球、白血球、血液凝固系と DIC、免疫系 腎単位、尿生成、腎不全 脂溶性・水溶性ビタミン、補酵素、抗酸化作用	講義
11~12	ホルモン: 内分泌疾患 高エネルギー化合物 酸化と還元	ホルモンの種類(構造、作用、受容体)、フィードバック調節: 糖尿病(生活習慣病) ATP、ホスホクレアチン等 乳酸脱水素酵素(LDH)と解糖系	発表会
13~14	代謝(糖質) 代謝(脂質) 代謝(タンパク質) 代謝と疾患	輸送、解糖系、クエン酸回路、電子伝達系、糖新生 脂肪酸のβ酸化、ケトン体、注目される脂肪酸 AST と ALT、尿素回路、血清クレアチニン 黄疸、高尿酸血症(痛風)	講義
15	まとめ 終了試験		
別時間	中間試験		

科目名	栄養学	時期	1年次 後期
担当者	管理栄養士	単位(時間) 回数	1単位(15時間) 8回
科目の概要	看護に必要な栄養の基礎知識と対象に応じた食事療法を学ぶ		
目標	1 人間にとっての栄養を理解する 2 治療における栄養管理について理解する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	☑ 1.豊かな人間力 ☑ 2.看護を実践する力 ☑ 3.探求する力 ☑ 4.連携・協働する力		
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔3〕栄養学 医学書院 系統看護学講座 別巻 栄養食事療法 医学書院 新食品成分表Foods 東京法令出版		
参考文献			
評価	筆記試験		
授業計画			
回数	項目	内容	方法
1～2	栄養素	1 栄養素の種類と働き	講義
	食物の消化と栄養素の吸収・代謝	1 消化と吸収 2 吸収・代謝産物の排せ 3 食品のエネルギーと消費	
3～4	食事と食品	1 食事とその変遷 2 日本人の食事摂取基準・食品と栄養素	講義
	ライフステージと栄養	1 ライフステージと妊娠・授乳期における栄養 2 食生活改善への施策・食の安全性	講義
5～7	食事療法の実際	1 病院食 2 経腸栄養製品	講義
		1 病人食の種類と特徴 2 症状を持つ患者の栄養 ・発熱・脱水・浮腫・便秘・下痢 ・やせ・過体重・摂食・嚥下障害 3 疾患を持つ患者の栄養 ・循環器系疾患患者 ・消化器系疾患患者 ・栄養代謝性疾患 ・がん化学療法患者	
8	終了試験(45分)		

科目名	病理学		時期	1年次 前期・後期
担当者	病理検査室 医師		単位(時間) 回数	1単位(30時間) 15回
科目の概要	人体におこる疾病の概念と、基本的な病態を学ぶ			
目標	1 病因と疾病の特徴を理解する 2 人体の諸臓器に起こる病変の形態学的変化を理解する			
ディプロマ・ポリシーとの関連	□ 1. 豊かな人間力 □ 2. 看護を実践する力 □ 3. 探求する力 □ 4. 連携・協働する力			
使用テキスト	系統看護学講座専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進①病理学 医学書院 系統看護学講座専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進②病態生理学 医学書院			
参考文献				
評価	筆記試験(中間・終了)			
授 業 計 画				
回数	項目	内 容		方法
1～3	序論	1 病理学とは 2 病因論		講義
4～9	細胞のつくりかえ障害によって細胞・組織に生じる変化	1 炎症・変性・壊死 2 循環障害 3 萎縮 4 過形成		
10～15	異常状態に影響する個体の条件	1 腫瘍 2 免疫 3 代謝障害 4 老化 5 先天障害		
別時間	終了試験			

科目名	病態学Ⅰ		時期	1年次 後期
担当者	医 師		単位(時間) 回数	1単位(30時間) 15回
科目の概要	解剖生理学および病理学の基礎知識に基づきながら、疾患と検査、治療を学ぶ。			
目 標	疾患により障害された部位への影響と疾患により発生する症状のメカニズム、検査・診断・治療について理解する			
ディプロマ・ポリシーとの関連	<input type="checkbox"/> 1. 豊かな人間力 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 看護を実践する力 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 探求する力 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 連携・協働する力			
使用テキスト	①系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔2〕呼吸器 医学書院 ②系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔3〕循環器 医学書院 ③④系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔7〕脳・神経 医学書院			
参考文献				
評 価	筆記試験 ①、②、③と④の内容について、それぞれ別日程で試験を実施する			
授 業 計 画				
回数	項 目	内 容		方 法
1～4	①呼吸器疾患の病態・診断・検査・治療	1 呼吸器総論、肺炎／結核 2 喘息、びまん性肺疾患 3 COPD、睡眠時無呼吸症 4 肺がん、中皮腫		講義
別時間	終了試験			
5～9	②循環器疾患の病態・診断・検査・治療	1 高血圧 2 狭心症 3 心筋梗塞 4 心不全 5 動脈瘤 6 弁疾患		講義
別時間	終了試験			
10～11	③神経系疾患の病態・診断・検査・治療	1 パーキンソン 2 筋ジストロフィー 3 ALS 4 脊髄小脳症		講義
12～15	④脳疾患の病態・診断・検査・治療	1 脳出血 2 脳梗塞 3 くも膜下出血 4 脳腫瘍 5 硬膜下血腫、硬膜外血腫		講義
別時間	終了試験			

科目名	病態学Ⅱ	時期	1年次 後期
担当者	医師	単位(時間) 回数	1単位(30時間) 15回
科目の概要	解剖生理学および病理学の基礎知識に基づきながら、疾患と検査、治療を学ぶ。		
目標	疾患により障害された部位への影響と疾患により発生する症状のメカニズム、検査・診断・治療について理解する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	□ 1. 豊かな人間力 ☑ 2. 看護を実践する力 ☑ 3. 探求する力 ☑ 4. 連携・協働する力		
使用テキスト	①系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔4〕血液・造血器 医学書院 ②③系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔5〕消化器 医学書院 ②系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院 ④系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔10〕運動器 医学書院		
参考文献			
評価	筆記試験 ①、②、③、④の内容について、それぞれ別日程で試験を実施する		
授業計画			
回数	項目	内容	方法
1～4 別時間	①血液・造血器疾患の病態・診断・検査・治療	1 貧血 2 白血病 3 悪性リンパ腫 4 播種性血管内凝固症候群(DIC) 5 血小板減少性紫斑病	講義
5～7 別時間	②消化器疾患の病態・診断・検査・治療 【外科的治療】	1 上部消化器疾患(食道がん・胃がん・胃潰瘍) 2 下部消化器疾患(大腸がん・直腸がん) 3 肝・すい臓・胆道疾患(がん・結石・炎症)	講義
8～10 別時間	③消化器疾患の病態・診断・検査・治療 【内科的治療】	1 消化管疾患 2 肝臓疾患 3 すい臓・胆のう疾患(がん・結石・炎症)	講義
11～15 別時間	④運動器疾患の病態・診断・検査・治療	1 骨折 2 椎間板ヘルニア 3 変形性膝関節症 4 脊髄損傷 5 慢性関節リウマチ	講義

科目名	病態学Ⅲ	時期	1年次 後期
担当者	医 師	単位(時間) 回数	1 単位(30時間) 15 回
科目の概要	解剖生理学および病理学の基礎知識に基づきながら、疾患と検査、治療を学ぶ。		
目 標	疾患により障害された部位への影響と疾患により発生する症状のメカニズム、検査・診断・治療について理解する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	<input type="checkbox"/> 1. 豊かな人間力 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 看護を実践する力 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 探求する力 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 連携・協働する力		
使用テキスト	①系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔6〕内分泌・代謝 医学書院 ②系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔11〕アレルギー・膠原病・感染症 医学書院 ③⑤系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔8〕腎・泌尿器 医学書院 ④系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔9〕女性生殖器 医学書院 ⑥系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔13〕眼 医学書院 ⑦系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔14〕耳鼻咽喉 医学書院 ⑧系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔15〕歯・口腔 医学書院 ⑨系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔12〕皮膚 医学書院		
参考文献			
評 価	筆記試験 ①と②、③、④と⑤、⑥～⑨の内容について、それぞれ別日程で試験を実施する。		
授 業 計 画			
回数	項 目	内 容	方 法
1～2	①内分泌・代謝の病態・ 診断・検査・治療	1 糖尿病 2 甲状腺疾患(バセドウ病、粘液水腫)	講義
3～4	②アレルギー・膠原病・感 染症疾患の病態・診断・ 検査・治療	1 SLE 2 アナフィラキシーショック 3 エイズ、インフルエンザ	
別時間	試験		
5～8	③腎疾患の病態・診断・ 検査・治療	1 腎不全 2 ネフローゼ症候群	講義
別時間	試験		
9～10	④女性生殖器疾患の病 態・診断・検査・治療	1 子宮筋腫 2 子宮がん 3 卵巣腫瘍(のう腫、がん) 4 乳がん	講義
11	⑤泌尿器疾患の病態・診 断・検査・治療	1 膀胱炎・膀胱がん 2 前立腺肥大症 3 前立腺がん 4 腎結石	
別時間	試験		
12	⑥眼疾患の病態・診断・ 検査・治療	1 白内障	講義
13	⑦耳鼻科疾患の病態・診 断・検査・治療	1 副鼻腔炎 2 メニエール病	
14	⑧歯・口腔・顎関節疾患 の病態・診断・検査・治 療	1 歯槽膿漏	
15	⑨皮膚科疾患の病態・診 断・検査・治療	1 白癬 2 湿疹	
別時間	試験		

科目名	病態学Ⅳ	時期	2年次 前期
担当者	医 師	単位(時間) 回数	1 単位(30 時間) 15 回
科目の概要	解剖生理学および病理学の基礎知識に基づきながら、小児期における疾患と検査、治療を学ぶ。さらに、妊娠・分娩・産褥における正常な過程と異常について学ぶ。		
目 標	1 小児の疾患における症状のメカニズム、検査、診断、治療について理解する 2 妊娠・分娩・産褥の生理と異常について理解する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	□ 1. 豊かな人間力 ☑ 2. 看護を実践する力 ☑ 3. 探求する力 ☑ 4. 連携・協働する力		
使用テキスト	①系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学〔2〕 小児臨床看護各論 医学書院 ②系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学〔2〕 母性看護学各論 医学書院		
参考文献			
評 価	筆記試験 ①、②の内容について、それぞれ別日程で試験を実施する		
授 業 計 画			
回数	項 目	内 容	方 法
1～8	①小児疾患 新生児疾患 小児の呼吸器疾患 小児の循環器疾患 小児の消化器疾患 小児の血液・造血器疾患 小児の悪性新生物 小児の腎・泌尿器及び生殖 器疾患 小児の神経疾患 小児の代謝疾患 小児の内分泌疾患 小児の免疫疾患、アレルギー 性疾患、リウマチ性 疾患 小児の感染症	1 低出生体重児 2 分娩損傷 3 新生児仮死 4 高ビリルビン血症 5 新生児感染症 1 肺炎(細菌性、ウイルス性、マイコプラズマ) 1 先天性心疾患(ファロー四徴症 他) 2 川崎病 1 乳児下痢症 2 腸重積 1 貧血 2 出血性疾患:突発性血小板減少性紫斑病 1 白血病 1 ネフローゼ症候群 1 けいれん性疾患:熱性けいれん 1 糖尿病 1 下垂体疾患:低身長症 1 アレルギー性疾患:気管支喘息 2 食物アレルギー 1 ウイルス感染症:麻疹 2 細菌感染症:百日咳	講義
別時間	試験		
9～15	②妊娠・分娩・産褥 正常妊娠 正常分娩 正常産褥 ハイリスク・異常妊娠 異常分娩 異常産褥	1 妊娠の生理 2 胎児の発育と生理 3 妊婦の生理的变化 4 妊娠の経過と検査・処置 1)妊娠の徴候と診断 2)胎児・胎盤機能の診断 1 分娩の生理 1)分娩の定義 2)分娩発来の際序 2 分娩の三大要素 3 分娩の機序 1 産褥の定義 2 産褥の復古現象 3 乳汁分泌 4 全身の変化 1 妊婦と胎児の異常 2 胎児付属物の異常 3 妊婦と合併症 4 ハイリスク妊娠 1 産道の異常 2 娩出力の異常 3 胎児および付属物の異常 4 分娩時の異常出血 5 産科手術および処置 1 子宮復古不全 2 産褥感染症	講義
別時間	試験		

科目名	病態学V	時期	2年次 前期・後期
担当者	医師	単位(時間) 回数	1単位(30時間) 15回
科目の概要	解剖生理学および病理学の基礎知識に基づきながら、疾患と検査、治療を学ぶ。		
目標	1 精神の健康障害や精神症状によって影響された患者の状態を理解する 2 精神の健康障害の検査、診断、治療について理解する 3 救急医療で対応される機能障害、病態を理解する。 4 放射線による検査と治療について理解する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	<input type="checkbox"/> 1. 豊かな人間力 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 看護を実践する力 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 探求する力 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 連携・協働する力		
使用テキスト	①系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学〔1〕精神看護の基礎 医学書院 ②系統看護学講座 別巻 救急看護学 医学書院 ③系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 医学書院		
参考文献			
評価	筆記試験 ①、②と③の内容について、それぞれ別日程で試験を実施する		
授 業 計 画			
回数	項目	内容	方法
1～7	①精神疾患の病態・診断・検査・治療 精神症状論と状態像 精神障害の診断と分類 精神科での治療	1 症状とはなにか 2 さまざまな精神症状 1 診断と疾病分類 2 代表的な疾患と障害 1)統合失調症 2)気分障害 3)神経症性障害, ストレス関連性障害および身体表現性障害 4)生理的障害および身体要因に関連した行動症候群 5)パーソナリティ障害 6)認知症 7)アルコール依存症 1 薬物療法 2 電気けいれん療法, 修正型電気けいれん療法 3 精神療法 4 環境療法・社会療法 5 その他	講義
8～13	②救急医療での主要病態と治療	1 心肺停止状態 2 意識障害 3 呼吸障害 4 ショック、循環障害 5 急性腹症 6 外傷 7 熱傷	講義
14	③放射線による検査と治療	1 放射線による検査の目的と特徴 2 放射線療法の目的と特徴	講義
15	終了試験		

科目名	薬理学	時期	1年次 後期
担当者	薬剤師	単位(時間) 回数	1単位(30時間) 15回
科目の概要	薬物療法の基礎的知識として、薬物の有効性、安全性、ならびに生体に作用するしくみを学ぶ		
目標	1 薬物治療の目的を理解し、薬物の作用機序および副作用や人体への影響について理解する 2 治療に用いられる薬剤について学び、薬剤の作用・副作用と取扱いについて理解する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	<input type="checkbox"/> 1. 豊かな人間力 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 看護を実践する力 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 探求する力 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 連携・協働する力		
使用テキスト	系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[3]薬理学 医学書院		
参考文献			
評価	筆記試験		
授業計画			
回数	項目	内容	方法
1~4	薬理学総論	1 薬理学を学ぶにあたって ・薬物による病気の治療 ・薬理学とは何か 2 薬理学の基礎知識 ・薬が作用するしくみ(薬力学) ・薬の体内の挙動(薬物動態学) ・薬物相互作用 ・薬効の個人差に影響する因子 ・薬物使用の有益性と危険性 ・薬と法律	講義
5~14	薬理学各論	1 抗感染薬 2 抗がん薬 3 免疫治療薬 4 抗アレルギー薬・抗炎症薬 5 末梢での神経活動に作用する薬物 6 中枢神経系に作用する薬物 7 循環器系に作用する薬物 8 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物 9 物質代謝に作用する薬物 10 皮膚科用薬・眼科用薬 11 救急の際に使用される薬物 12 漢方薬 13 消毒薬 14 輸液製剤・輸血剤	
15	終了試験		

科目名	微生物学	時期	1年次 前期
担当者	非常勤講師	単位(時間) 回数	2単位(30時間) 15回
科目の概要	微生物の特徴、感染症とその予防および治療を学ぶ		
目 標	1. 微生物の特徴と生体に及ぼす影響を理解する 2. 感染症の理解に基づき、その予防と治療を理解する 3. 感染症の最新動向(SARS-CoV-2・AMR 問題等を含む)について理解する 4. 免疫系について理解する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	<input type="checkbox"/> 1. 豊かな人間力 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 看護を実践する力 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 探求する力 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 連携・協働する力		
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[4]微生物学 医学書院		
参考文献	https://dent.niigata-u.ac.jp/microbio/microbio.html		
評 価	最終回の筆記試験および毎回授業の小テスト		
授 業 計 画			
回数	項 目	内 容	方 法
1～2	微生物学の基礎と総論	1. 現在の感染症動向 2. 微生物学の歴史 3. 微生物の分類と構造 4. 化学療法と薬剤耐性(AMR) 5. 感染症の予防と制御	講義
3～4	おもな病原微生物(1)	1. 細菌学総論 2. グラム陽性細菌と感染症	講義
5～6	おもな病原微生物(2)	1. グラム陰性細菌と感染症	講義
7～8	おもな病原微生物(3)	1. マイコプラズマと感染症 2. リケッチアと感染症 3. クラミジアと感染症	講義
9～10	おもな病原微生物(4)	1. ウイルス学総論 2. DNA ウイルスと感染症	講義
11～12	おもな病原微生物(5)	1. RNA ウイルスと感染症 2. 真菌学総論 3. 病原真菌と感染症	講義
13～14	免疫とアレルギー	1. 免疫学総論 2. 自然免疫 3. 獲得免疫(体液性免疫と細胞性免疫) 4. アレルギー 5. ワクチンと副反応	講義
15	終講試験と総括	1. 筆記試験 2. 試験の解説と総復習	試験 講義

科目名	リハビリテーションと看護	時期	1年次 後期
担当者	理学療法士	単位(時間) 回数	1単位(15時間) 8回
科目の概要	さまざまな生活の場におけるあらゆる健康状態にある人へのリハビリテーションを学ぶ		
目 標	1 リハビリテーション療法の目的と方法について理解する 2 リハビリテーションにおける看護の役割を理解する 3 その人らしく生きることの支援を理解する		
ディプロマポリシーとの関連	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 豊かな人間力 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 看護を实践する力 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 探求する力 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 連携・協働する力		
使用テキスト	系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院		
技術経路録 演習項目	レベル I 自動・他動運動の援助		
評 価	筆記試験		
授 業 計 画			
回数	項 目	内 容	方 法
1~2	リハビリテーションの概 念	1 リハビリテーションの目的と考え方 2 主要な概念 ・ICF ・生活モデル ・ADL ・I-ADL ・QOL	講義
3~4	身体、心理、社会的なア セスメント	1 自己概念の変容 2 家族支援 3 社会の理解	講義
5~7	援助の実際	1 発達と加齢 2 生活行動 ・呼吸 ・話す ・聞く ・食べる飲む ・排泄 ・動く ・休む ・見る 3 在宅リハビリテーション	講義 演習
8	終了試験(45分)		

科目名	医療と法	時期	2年次 前期
担当者	教職員他	単位(時間) 回数	1単位(15時間) 8回
科目の概要	看護を提供する基盤となる法規を学ぶ		
目標	1 人間の健康の回復保持増進に関する法を理解する 2 法規に規定されている看護職の資格・業務・責任について理解する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	☑ 1. 豊かな人間力 ☑ 2. 看護を実践する力 ☑ 3. 探求する力 ☑ 4. 連携・協働する力		
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度〔4〕看護関係法令 医学書院		
参考文献			
評価	筆記試験		
授 業 計 画			
回数	項目	内容	方法
1~2	看護法	1 保健師助産師看護師法 2 看護師等の人材確保の促進に関する法律	講義
3	労働法	労働法と社会基盤	講義
4	医事法	1 医療法 2 医療関係資格法 3 医療を支える法	講義
5		4 移植医療に関する法	講義
6	保健衛生法	1 感染症に関する法	講義
7	薬務法	1 薬事一般に関する法律 2 人などの組織を用いた医療関連法 3 薬害被害者の救済など 4 麻薬・毒薬など	講義
8	終了試験(45分)		

科目名	公衆衛生学	時期	2年次 前期・後期	
担当者	新発田地域振興局職員	単位(時間) 回数	1単位(30時間) 15回	
科目の概要	公衆衛生看護活動の歴史と地域における人々の健康な生活を支える公衆衛生看護活動の役割と課題を学ぶ			
目標	人々の健康を維持するための公衆衛生活動の特性と組織的な保健活動について理解する			
ディプロマ・ポリシーとの関連	☑ 1. 豊かな人間力 ☑ 2. 看護を実践する力 ☑ 3. 探求する力 ☑ 4. 連携・協働する力			
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度〔2〕公衆衛生 医学書院			
参考文献				
評価	筆記試験			
授 業 計 画				
回数	項目	内 容	方 法	
1～14	公衆衛生を学ぶにあたって・公衆衛生のエッセンス	1 「みんなの健康」をどうまもるか 2 公衆衛生とはなにか、2 世界の公衆衛生の歴史 3 日本における公衆衛生 ～はじまりと発展、戦後の展開～ ・プライマリヘルスケア ・ヘルスプロモーション	講義	
	公衆衛生の活動対象	1 社会集団をとらえる視座 2 社会集団の中にある特定集団		
	公衆衛生のしくみ	1 政策展開 2 国と地方自治体の役割 3 専門職の役割 4 住民との協働		
	疫学・保健統計	1 人々の健康を守る 2 公衆衛生の場での疫学 集団を捉える～原因分析～対策を計画・実施		
	環境と健康	1 地球環境と健康 2 生活環境と健康		
	感染症とその予防対策	1 感染症とその予防の基礎知識 2 公衆衛生上の重要な感染症とその対策		
	国際保健	1 国際保健の共通目標		
	地域における公衆衛生の実践	1 母子保健 2 成人保健・高齢者保健 3 精神保健 4 歯科保健 5 障害者保健・難病保健		
	学校と健康	1 学校における健康と学校保健		
	職場と健康	1 職場における健康と産業保健		
	健康危機管理・災害保健	1 健康危機管理 2 災害保健		
15	終了試験			

科目名	社会福祉論	時期	2年次 前期
担当者	医療相談員	単位(時間) 回数	1単位(30時間) 15回
科目の概要	看護の対象である人々が利用している福祉サービスの意義と制度のなりたちや内容を学ぶ		
目標	1 現代社会における社会福祉の意義・役割を理解し、制度や諸サービスの成り立ちと内容について理解する 2 保健・医療・福祉の連携と協力の意義を理解する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	<input type="checkbox"/> 1. 豊かな人間力 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 看護を実践する力 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 探求する力 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 連携・協働する力		
使用テキスト	新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度③ 社会福祉 メヂカルフレンド社		
参考文献			
評価	筆記試験		
授 業 計 画			
回数	項目	内 容	方 法
1～2	生活と福祉	1 なぜ福祉を学ぶか 2 生活基盤 3 ライフスタイル 4 人間の集団としての働き	講義及び演習
3～5	社会保障の概念・歴史・制度体系	1 社会保障概念の形成 2 日本の社会保障の歴史的発展 3 社会保障の定義と制度の範囲・分類 4 社会保障の目的と機能 5 社会保障の方法と財政	
6～11	わが国の社会保険制度	1 社会保険の役割と制度の分類 2 医療保険制度 3 高齢者医療制度等 4 保険医療制度 5 医療提供体制と国民医療費 6 介護保険制度 7 年金保険制度 8 労働保険制度	
12～14	社会福祉歴史と援助技術	1 慈善事業から福祉国家まで 2 わが国の社会福祉の歴史 3 社会福祉基礎構造改革と社会福祉法 4 社会福祉援助技術	
	社会福祉の諸制度と施策	1 生活保護法と施策 2 児童福祉と施策 3 障害児の福祉施策 4 障害者の福祉施策 5 高齢者の福祉施策	
15	社会福祉行政のしくみ 社会保障制度の動向	1 少子高齢社会 2 社会保障制度改革	
	終了試験		

科目名	医療と倫理	時期	2年次 前期
担当者	医師、看護師として5年以上の実務経験を有する専任教員	単位(時間) 回数	1単位(30時間) 15回
科目の概要	医療における倫理的問題と、看護の対象者である人間の尊厳と権利を擁護する責務を学ぶ		
目標	1 医療における倫理的課題を理解する 2 医療の現場にある倫理的課題を分析・解決する方法を理解する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	☑ 1. 豊かな人間力 ☑ 2. 看護を実践する力 ☑ 3. 探求する力 ☑ 4. 連携・協働する力		
使用テキスト	系統看護学講座 別巻 看護倫理 医学書院		
参考文献			
評価	筆記試験		
授業計画			
回数	項目	内容	方法
1	倫理学の基本的な考え方	1 倫理の考え方 2 倫理の歴史	講義 演習 グループワーク
2	生命倫理	1 生命倫理の理論 2 看護職の責務	
3	性と生殖の生命倫理	1 性の生命倫理 2 生殖の生命倫理	
4	死の生命倫理	1 死と医療 2 死についての生命倫理の課題	
5	先端医療と制度	1 移植 2 再生医療 3 遺伝子医療 4 医療資源と医療保険	
6~7	看護倫理	1 看護職に求められる倫理 2 看護実践における倫理的問題 3 事例分析	
8	終了試験		